

令和4年度全国学力・学習状況調査 堺市結果概要

総合的な学力の育成に向けて～つなげて考える～

堺市教育委員会

教科に関する調査の結果概要

【調査について】

令和4年度調査の日程及び調査方式、対象教科

実施日	令和4年4月19日（火）
実施対象	小学6年生、中学3年生の全児童生徒
調査内容	小学6年生：国語、算数、理科、質問紙調査 中学3年生：国語、数学、理科、質問紙調査



各教科の平均正答率(堺市と全国・大阪府)

R4 教科	小学校			中学校			小 国数 合計	中 国数 合計	小 3教科 合計	中 3教科 合計
	国語	算数	理科	国語	数学	理科				
堺市	65	63	63	67	51	47	128	118	191	165
大阪府	64	63	60	67	51	47	127	118	187	165
全国	65.6	63.2	63.3	69.0	51.4	49.3	128.8	120.4	192.1	169.7
全国平均を100/堺市	99.1	99.7	99.5	97.1	99.2	95.3	99.4	98.0	99.4	97.2

成果

- 中学校の国語、数学において、全国平均を100とした場合の昨年度の同一学年と比較して改善した。また、学力低位層（正答率40%未満）の割合が減少した。
- 小学校、中学校ともに自尊感情を育む教育に関して「自分にはよいところがあると思う」と肯定的に回答した児童生徒の割合が全国を上回った。

課題

- 小学校、中学校ともに国語、算数、数学において、学力低位層（正答率40%未満）の割合が全国よりも多い。
- 前年度までに受けた授業でPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用していたかの質問について、週1回以上使用している割合が、小中学校ともに全国を下回った。

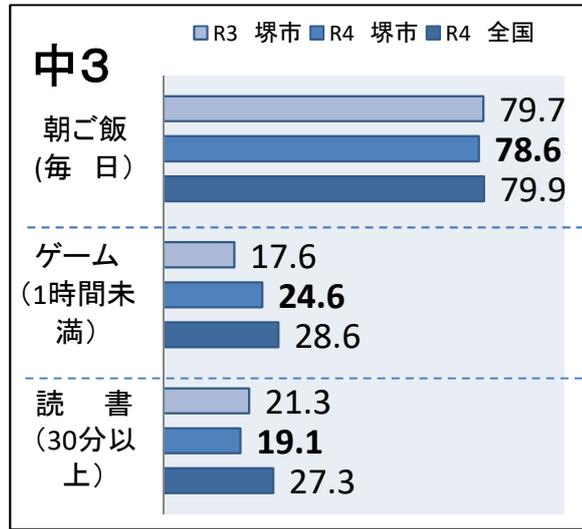
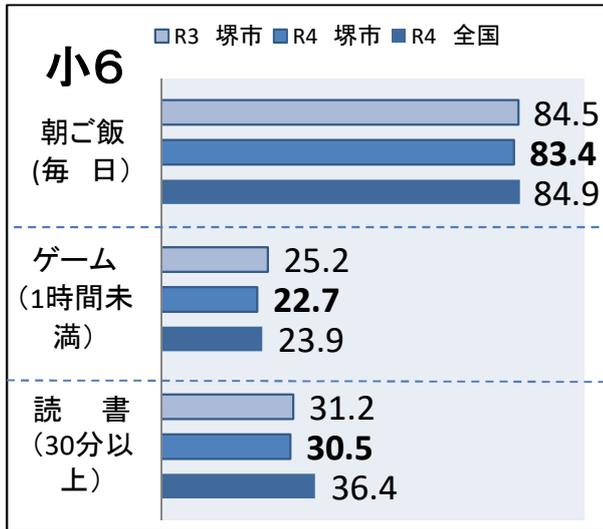
堺市の取り組み

- 堺市教育委員会は、市全体の分析を行い発信し、市全体の課題がみられた問題についてつまずきのポイントや授業改善例を示すとともに小1～中3までの指導の系統性を示す。
- 堺市教育委員会は、学校や担任、子どもが調査結果を活用できるように以下のことに取り組む。
 - ・学校が、自校の学校教育目標の実現状況を検証することができるよう、「検証改善分析シート」の提供を行う。
 - ・担任等が、学校教育目標等と関連付けた問題分析をもとにした授業改善を行うことができるよう、研修を行う。
 - ・担任等が、子どもの学びを把握して授業改善にいかせるよう、「ふりかえりシート」の提供を行う。

学習・生活状況に関する調査の結果概要

◆ 家での7つのやくそく

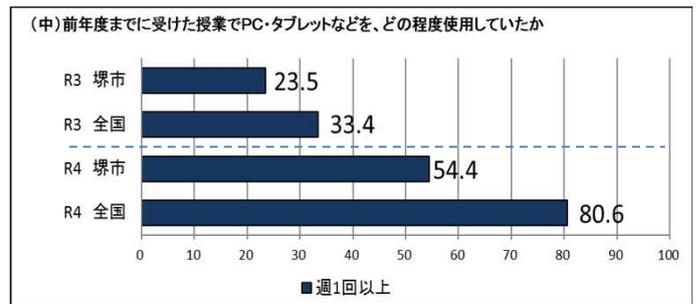
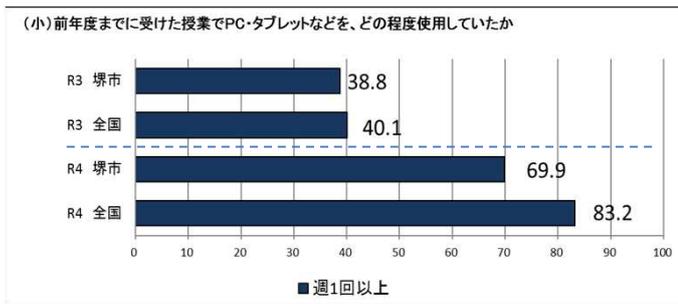
- 毎日朝ご飯を食べている割合は、小中学校ともに令和3年度を下回った。
- 平日にゲームをしているのが1時間未満（まったくしないを含む）の児童生徒の割合は、小学校では昨年度より減少しているが、中学校では増加しており改善した。
- 小中学校ともに、平日30分以上読書している児童生徒の割合は令和3年度を下回った。



※家での7つのやくそくのうち「早寝早起き」「家族との対話」「学校に持って行くものを前日に確かめる」「宿題など自分から進んで勉強する」は、質問紙調査を実施していないため、記載していません。

◆ ICTの活用について

- 前年度までに受けた授業でPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用していたかの問いについて、週1回以上使用している割合が、小中学校ともに全国を下回った。



◆ 自尊感情を育む教育

～子ども自身が自分の良さを感じられる取組の推進～

- 「自分にはよいところがあると思う」という質問項目において、小学校、中学校で肯定回答の割合が全国平均を上回った。

